

2011年9月17日(土)

東奥日報

ニュース

Tweet

■ 十和田でとうてつ電車祭り開幕

十和田観光電鉄の「とうてつ電車祭り」が17日、開幕した。初日は同社が保有するすべての電車を十鉄線で運行。レトロな車両も雄姿を見せ、鉄道ファンを喜ばせた。祭りは18日まで。

運行した車両は、1951年に製造された電気機関車ED300形や、東急電鉄(東京都)から譲り受けた42年製造のモハ3600形など。同日は十和田市駅—三沢間を走行した。

17日午前には、旧型車両が六戸町の七百駅構内に集結。県内外から駆け付けた鉄道ファンや家族連れが、熱心にカメラに収めていた。また、沿線各地では三脚を設置して、走行する電車を撮影する鉄道写真愛好家たちの姿が見られた。

千葉県から十和田市現代美術館に向かう途中で七百駅に立ち寄った高田真司さん(49)は「以前から、十鉄発注車両のモハ3400形に乗ってみたかった。この電車は地域の宝。動態保存している十鉄に感謝したい」と興奮気味に話した。

最終日は、七百駅を会場に午前10時～午後3時まで、家族向けイベントを開催。電車グッズの販売や、子ども向けのミニ電車無料乗車コーナーなどを設置する予定。問い合わせは同社(電話0176-23-3134)へ。

この動画はFLASHを使用しています

[動画サイト「東奥NETテレビ」はこちら](#)



七百駅に集結した旧型のモハ3600形(右)や電気機関車(左奥)

—PR—

県外限定!!「東奥日報電子版」
パソコンでその日の東奥日報が
まるごと読めます
購読のご案内、申し込みはこちら
[>>クリック](#)

[<<戻る](#)